

# 都立光丘高等学校令和4年度 教科 地理歴史 科目 世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：世界史B 単位数：4単位

対象学年組：（第2学年1組～6組）

教科担当者：（1・4組：佐々木 桃子<sup>㊞</sup>）（2・文系56組：徳永 園芳<sup>㊞</sup>）

使用教科書：（『新詳 世界史B』帝国書院）

使用教材：（『プロムナード世界史』浜島書店）

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	ルネサンス、宗教改革を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査など	12

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査など	12

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	産業社会と国民国家の形成	産業革命、フランス革命など18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査など	18

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	産業社会と国民国家の形成	フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査など	4

8月	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
				0

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	世界市場の形成と日本	世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質と其中での日本の位置づけを理解させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査等など	12

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	帝国主義と社会の変容	科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査等	16

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	第一次世界大戦 ロシア革命とソヴィエト連邦の成立	第一次世界大戦の勃発に至る経緯を知るとともに、第一次世界大戦が総力戦としての性格を持っていたことを理解する。 ロシア革命の過程と、それによって成立したソヴィエト連邦が世界に与えた影響について理解する。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査等	16



	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>大衆社会の出現とファシズム 第一次世界大戦後のアジア・アフリカの情勢</p>	<p>大戦後に国際連盟やヴェルサイユ・ワシントン体制が成立し、大戦前と国際秩序が変化したことを理解する。 第一次世界大戦後に、中国での5・4運動、インドでのガンディーや国民会議派による運動、トルコでのトルコ革命など大衆的基盤を持つ民族運動が発生したことを理解する。</p>	<p>授業態度・課題（授業内外）・定期考査等</p>	10

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	世界恐慌とその後の世界情勢 第二次世界大戦	世界恐慌が資本主義諸国に深刻な打撃を与え、アメリカ合衆国のニューディール政策やイギリスのブロック経済政策など、各国で様々な恐慌対策がとられたことを理解する。 第二次世界大戦について、ヨーロッパの戦争から始まり、太平洋地域に戦争が拡大し、戦場が広域化していった過程、核兵器がもたらした甚大な被害、戦争の様相が多数の民間人を含む膨大な犠牲をもたらしたことを理解する。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査等など	12

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	米ソ冷戦と第三世界	米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる	授業態度・課題（授業内外）・定期考査等など	16

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	グローバル化した世界と日本	市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について理解させる。	授業態度・課題（授業内外）・定期考査など	12